

友好団体の要望を来年度予算に反映へ 団体政策懇談会で意見交換

道議会自民党・道民会議は10月12～14日、各種友好団体と意見交換する「団体政策懇談会」を開きました。各団体の要望や提言を聴き、来年度の施策や予算に反映させるため毎年開催しており、今年度も経済、農林水産、医療・福祉、建築土木、運輸、教育など43団体と活発な意見交換が行われました。私も道議会自民党の政策審議委員として積極的に参加しました。



北斗の秋サケにも深刻な被害 赤潮問題で道東の16市町長から緊急要望

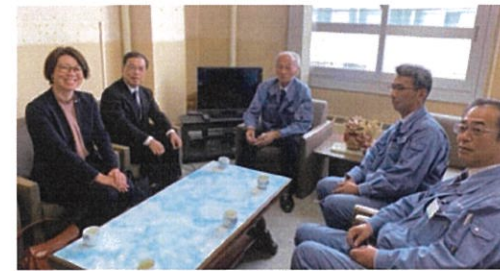
昨秋以降に相次いだ赤潮被害を巡り10月7日、特に被害が大きい道東の太平洋沿岸の16市町長から緊急要望書を受け取りました。赤潮は北斗の秋サケ漁にも被害を及ぼしており、道内の水産業にとって深刻な問題です。道議会自民党及び自民党道連は、国と連携し、既存の制度にとらわれない対応を求めて取り組んでいます。



久根別駅付近踏切歩道拡幅部の調査



戸切地川維持作業の調査



月形農協の青果物出荷貯蔵施設を視察



ゼロカーボン北海道の実現に向けた勉強会

市民の声を聞きに常に現場へ!



北斗市植樹祭に参加



交通安全の街頭啓発活動



上磯郡漁協の視察



ハウス園芸生育状況の視察

道政だより

令和4年新春号 令和4年1月5日(水)発行

輝き続ける 北斗を目指して

～市民の声を大切に～

北海道議会議員

滝口直人

たきぐちなおと



一昨年から続く新型コロナウイルス感染症により影響を受けられた皆さまに、心よりお見舞い申し上げます。

ワクチン接種の進展や皆さまの日頃からのご協力により、昨秋より国内の感染状況は落ち着きを見せています。しかし、新たな変異株が出現するなど、依然として予断を許しません。新たな変異株の拡大を防ぎつつ、ようやく再開し始めた社会経済活動が停滞することのないよう、引き続き全力で取り組んでまいります。

一方で、地球規模の気候変動は、わが北斗市にとっても大きな問題です。11月初めには、市南部地域で1時間に100ミリ以上の猛烈な雨が降り、記録的短時間大雨情報が出されました。自然の猛

威から皆さまの暮らしや地域経済を守るため、河川流域の自治体や企業、住民などが協力して水害リスクを低減する「流域治水プロジェクト」の推進に力を入れ、ふるさとの「強靱化」を力強く進めていきます。

また、道東から始まった赤潮問題は、北斗の秋サケ漁にも被害を及ぼしています。原因究明と漁場回復、漁業者支援に総力を挙げます。

地域の課題を一つひとつ解決に導き、皆さまの声を道政に反映させ、「輝き続ける北斗」の実現に引き続き取り組んでまいりますので、さらなるご指導・ご鞭撻をお願い申し上げます。

北海道議会議員 滝口直人

プロフィール

昭和30年上磯町生まれ。上磯小、上磯中、北海道函館中部高校、小樽商科大学商学部を卒業。上磯町総務課長、北斗市総務課長、同市民部長、同副市長などを歴任し、平成31年北海道議会議員に初当選。現在、道議会自民党・道民会議政策審議委員、同環境生活常任委員会理事、同人口減少問題・地方分権改革等調査特別委員会理事、党道連組織委員会副委員長、同総務会常任総務など。

北海道議会議員 滝口直人事務所

〒049-0161 北斗市飯生2丁目8-1 アピアビル1階D号室
TEL(0138)86-5518 FAX(0138)86-5519
ホームページ <https://www.takiguchi-naoto.jp/>
E-mail: takiguchijimusyo@hotmail.or.jp

コロナ、自然災害、赤潮…… 待ったなしの課題解決に全力を傾注しています!

令和3年第3回定例会

一般質問

9月28日の一般質問で、自然災害への備えや被害からの回復力強化、幼児教育、地域経済を支える中小企業の振興などの重要課題について、道の取り組みをただし、鈴木直道知事をはじめ理事者から積極的な答弁を引き出しました。

増加する豪雨災害に備える 流域治水プロジェクトについて

滝口 国の流域治水プロジェクトに位置づけられた一級水系と同様、道が管理する二級水系についても、230水系のうち40水系で令和3年度中に流域治水プロジェクトを策定すると承知している。残る190水系の流域治水にどのように取り組むのか。



知事 残りの190水系でも今後、洪水による被害状況や土地利用状況などを踏まえ、緊急性の高い河川からプロジェクトを策定し、多様な関係者と連携を一層強化しながら水害に強い北海道づくりに取り組む。

災害に強い行政、経済の構築へ 業務継続計画について

滝口 自然災害をはじめとする緊急事態が発生したときに、優先度の高い通常業務などを継続するためにあらかじめ策定しておく業務継続計画 (BCP) については、

絶えず内容を充実していく必要がある。いまだ策定数を明らかにしていない学校等の教育機関や未策定の企業があり、できるだけ早く計画を策定し、対策を準備することが必要と考える。

知事 現在、道内すべての市町村で策定しているが、非常用発電機の確保など国が特に重要としている6項目をすべて満たしているのは42市町村にとどまる。民間の調査では、中小企業で策定しているのは13.5%。道として市町村に対し、課題把握のための調査に加え、直接訪問するなど、策定の促進と内容の充実強化を図る。

教育長 道教委では、未策定の市町村立学校等に対し、管内の教育長会議や義務教育指導監による学校訪問などを通じ、速やかに策定するよう指導助言する。

質の高い幼児教育の実現へ 幼児教育の充実について

滝口 幼児教育は生涯にわたり効果があることが実証



されており、これまで以上に質の高い幼児教育が必要。北海道総合教育大綱でも四つの基本方針の一つ「新たな社会を生きる力を育む」の中で、幼児教育の充実が掲げられている。そのためには、幼児教育施設と小学校との連携・接続の推進、質の高い幼児教育が重要となる。

知事 道と道教委が一体となって公立私立の別や施設種を超えた合同研修等に取り組むほか、幼児教育施設と小学校等の緊密な連携に向け、各振興局や教育局、市町村等が参画する「管内ネットワーク会議」を活用し、課題や先進事例の情報共有を図っている。今後も、人材の育成確保や情報発信等、各施策の着実な推進に努める。



中小企業の成長・発展に向けた体制強化 中小企業の振興について

滝口 コロナ禍で中小企業の多くは引き続き厳しい状況にあり、商工団体に対する相談が増加している。一方で、商工団体の組織率は下がっており、経営相談員等も減少している。商工団体の組織強化、経営相談員等の安定的な確保や増員が必要と考える。

知事 実情をしっかりと踏まえ、道として運営体制の充実を図り、職員の資質向上や関係機関と連携した専門家の派遣による各種相談への対応力強化などに取り組む。現在、見直し等を進めている北海道小規模企業振興条例の検討の場でも、事業者の皆さまへの支援機能が十分発揮されるよう取り組む。

その他の質問

- 新型コロナウイルス感染症について
- 子どもの貧困対策について
- 全国育樹祭について

令和3年 環境生活委員会

主な質問

- 交通安全の推進について
- ヒグマ対策について
- 東京2020オリンピックの札幌開催について
- コロナ禍における今後のスポーツ大会について
- アイヌ文化の魅力発信について
- 「北海道・北東北の縄文遺跡群」の世界文化遺産について
- 北海道立自然公園条例及び北海道立自然公園条例施工規則の一部改正(素案)について

令和3年 第2回定例会 予算特別委員会

主な質問事項

- 交通政策について
- 生活路線バスについて
- 北海道Society5.0推進計画について



令和3年 決算特別委員会

主な質問

- 漁業分野における担い手確保対策について
- 日本海漁業等の振興について
- 新型コロナウイルス感染症の影響への対応について
- 赤潮について
- 事業者支援等について
- ものづくり産業の振興について
- 企業誘致について
- 新エネルギー導入加速化基金事業について
- 新型コロナウイルス感染症対策について
- 道立美術館の情報発信等について
- 高校生の就職支援について

